



# 安心して過ごせる子どもたちの居場所

市では、多様なニーズに合わせて、小学校や児童館など各施設でさまざまな子どもたちの居場所づくりの取り組みを進めています。今回は、取り組みの特徴とともに、子どもたちの過ごし方やスタッフ、保護者の声を紹介します。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎ 23-3174

## 小学生の保護者が期待する支援策

(子どもの過ごし方)

気軽に集える施設の増加	38.4%
防犯対策の充実	38.4%
小中高生の居場所の拡充	28.0%
児童クラブなどの拡充	24.2%
経済格差が学力格差にならない支援	23.8%
学びや社会参加の支援	22.0%

出典：第2期子ども・子育て支援事業計画 策定のためのニーズ調査（平成30年11月） ※複数回答

子どもたちの居場所が必要な時代  
共働きやひとり親家庭の子どもたちは、放課後や長期休業日には、子どもたちだけで過ごすこととなります。また、平成30年に保護者を対象に実施したアンケートによると、子どもたちが気軽に集える施設の充実に加え、安心して過ごすことができる居場所が求められています。このようなニーズに応え、保護者が安心して働くことができるよう、市では、子どもたちが安全・安心で充実した生活ができる放課後児童クラブなどの充実に取り組んでいます。



Q どんなところ？

A 放課後や休みの日に遊びや生活の場を提供する施設

Q 利用できるのは？

A 仕事などで保護者が家にいない小学生

家庭に代わる  
遊び・生活の場



放課後児童クラブ

◎問い合わせ  
保育課  
☎23-4894



Q どこでやっているの？

A 主に小学校や保育所、児童館など69カ所

Q 利用するには？

A 11月～12月ごろ、次年度の利用を申し込み

1

14時40分



子どもたちは下校時、家に帰らずクラブへ。

2

14時45分  
～  
15時



待ちに待ったおやつ時間。いただきます！

6

17時  
～



保護者がお迎え。

3

15時  
～  
15時30分



お互いに教え合いながら、宿題に集中。

放課後児童クラブ  
「ゆうやけクラブ」  
1年生の  
ある日の1日

5

16時30分  
～  
17時



元気に外遊び！

4

15時30分  
～  
16時30分



週に一度の英語教室。楽しく英語を学べる時間がみんな大好きです。

ゆうやけクラブ  
支援員 永峰裕子さん

### ほっとできる居場所

祝吉小学校内にある児童クラブで、家庭のようにほっとできる居場所を提供しています。また、保護者とのコミュニケーションを大切にしている、その日の出来事や様子などを伝えています。一人一人の成長を見守りながら、学校から家庭への橋渡しができると思います。

Interview  
スタッフ  
メッセージ

Interview  
利用者の声



篠塚 藍さん  
ゆいな  
結菜さん親子  
(郡元町)

ゆうやけクラブはアットホームな雰囲気です。支援員の皆さんとも気軽に話ができます。安心して子どもを預けられるので、本当に助かっています。また、他学年の子と触れ合えたり、英語の時間があつたりするなど、子どもにとって貴重な体験ができる居場所です。



Q どんどころ？

A 保護者の就労を問わず、学習や遊びなどを通じて、さまざまな体験活動を提供する場

Q 利用できるのは？

A 小学1年生～6年生

地域交流・体験活動の場



放課後子ども教室

◎問い合わせ  
生涯学習課  
☎23-9545



Q どんどころでやっているの？

A 主に小学校や地区公民館など9カ所

Q 利用するには？

A 年度当初に教室ごとに行う説明会に参加し申請

上小スマイルふれんど  
コーディネーター  
武藤 佐智子さん



教室での経験が子どもたちの成長！

あまり家でできないことを経験させたいと思い、ブンゴマや七夕の笹飾り作り体験などの工作を中心に活動しています。卒業生が、ボランティアとして戻ってきて遊び相手になってくれることも多く、ずっとつながっていける場所だと思います。

Interview  
スタッフ  
メッセージ



「上小スマイルふれんど」での活動の様子

学年に関係なく、学習や遊びを体験しています。



Q どんどころ？

A 障がいなどのある子ども一人一人に応じた支援を行う場

Q 利用できるのは？

A 支援が必要な小・中学生、高校生

社会生活に必要な能力を伸ばす場



放課後等デイサービス

◎問い合わせ  
福祉課 ☎23-2980

Q どんどころでやっているの？

A NPO 法人などが運営する民間施設など29カ所

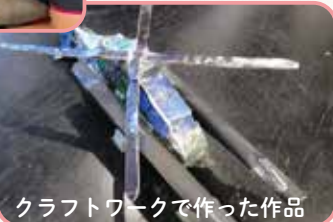
Q 利用するには？

A 福祉課で利用申請



「NPO法人さらだ」での活動の様子

子どもたちの作品を、ホームページに掲載しています。



クラフトワークで作った作品

自分らしい生活を応援します！

福祉や医療などの経歴を持つ支援員が、一人一人と向き合いながら発達を支援しています。また、地域で生活していくために、遊びや活動を通して長所を輝かせることを心掛けています。地域の皆さんと連携しながら、活動の幅を広げていきたいですね。

Interview  
スタッフ  
メッセージ



NPO 法人さらだ  
支援員  
四本 由紀さん



Q どんなところ？

A 地域のボランティアが、子どもたちに学習や生活面の支援を行う場

Q 利用できるのは？

A 小・中学生  
※実施場所により異なる

地域ボランティアによる学習・生活支援の場



子どもの生活・学習支援

◎問い合わせ  
都城市社会福祉協議会  
☎25-2123

Q どこでやっているの？

A 市内の公民館や民間施設など  
6カ所

Q 利用するには？

A 実施場所など詳しくは、都城市社会福祉協議会に問い合わせ

社会福祉法人 まりあ  
夢学舎塾長  
山口洋一さん



Interview  
スタッフ  
メッセージ

≡ 学ぶ姿勢を大切にしています！

土曜日の午前中に、地域の小学6年生を対象とした学習教室を開講。学ぶ姿勢を養う支援をしたいと思い、理解度に合わせた手作りの問題を用意して授業を進めています。メリハリを大切にしながら、子どもたちが楽しく学べる居場所をつくっていただきたいと思います。



「夢学舎」での活動の様子

分からない問題があるときは、ボランティアの大学生が丁寧に教えてくれます。



Q どんなところ？

A 自由な遊びや活動を見守ってくれる場

Q 利用できるのは？

A 乳幼児から18歳まで

安心して自由な遊び場



児童館・児童センター

◎問い合わせ  
こども課  
☎23-2684



Q どこでやっているの？

A 市内の施設 14カ所

Q 利用するには？

A 希望する児童館・児童センターを自由に訪問

取材を終えて  
今回の特集では、子どもたちが過ごす5つの「居場所」取材。各施設では、さまざまな資格や経験を生かして、子どもたちに寄り添うスタッフと子どもたちの笑顔にあふれていました。  
核家族化が進み、共働きやひとり親世帯が増えた現代。取材を通して、子どもたちが安心して過ごし、そして親も安心して働くためには、支援する人たちが居場所が必要であることを改めて実感しました。



「高城児童館」での活動の様子

学年を問わず、ルールを守って仲良く過ごしています。

